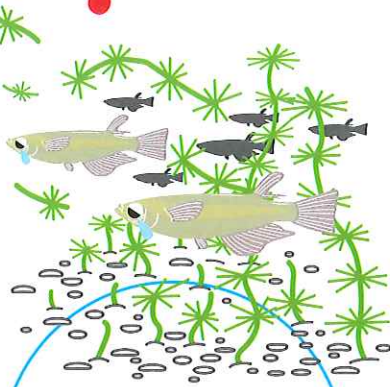




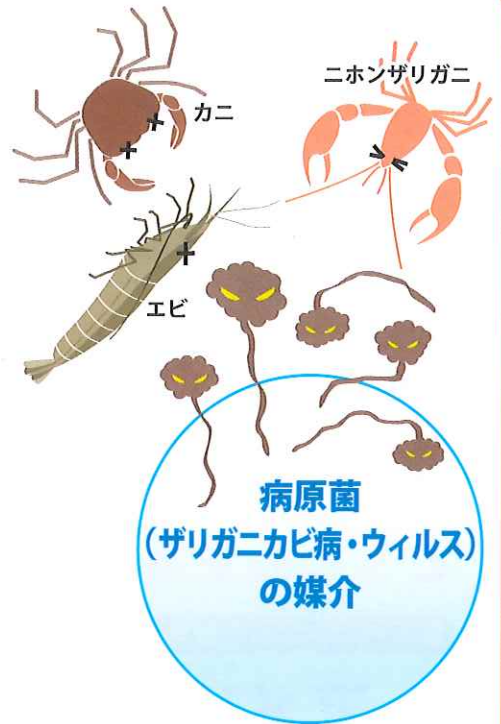
どんな被害があるの？



捕食・競合による
水生昆虫の減少



水草の切断による
水生植物帯の破壊



病原菌
(ザリガニカビ病・ウィルス)
の媒介



ザリガニを飼育している方へ

- ・決して野外に放したり、捨てたりせず、最期まで責任をもって飼育してください。
- ・飼育ケースから逃げ出さないよう、フタ付きの容器で飼育しましょう。ザリガニは力が強いので、フタを押し上げて逃げ出してしまうこともあります。フタの上に重しになるものに乗せておくより安全です。
- ・屋外で水槽の掃除や水替えをする際には、ザリガニを別のフタ付容器に入れて逃げ出さないように注意してください。また、小さな子ザリガニがいる場合には、水路などに流れ出さないよう、水切り用のネット等を使用してください。

「ミステリークレイフィッシュかな？」と思ったらお知らせください。

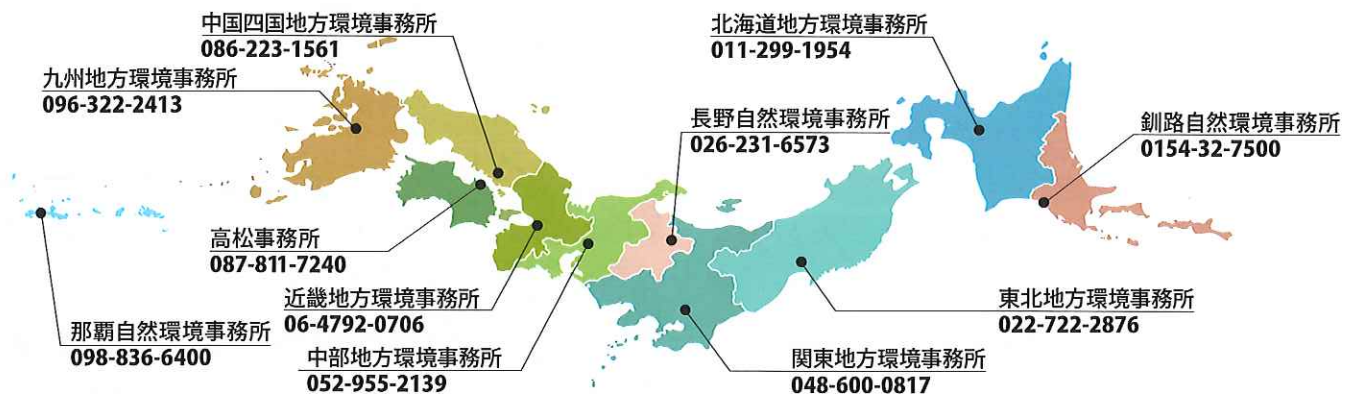
現時点では、野外でミステリークレイフィッシュが見つかる場所はごく一部の地域に限られていますが、アメリカザリガニとよく似ているために、生息していても見落とされている可能性もあります。

外来種の被害を防止するためには、早期発見、早期駆除が重要です。

このチラシの表面の「ここが見分けのポイント」のイラストを参考にして、ミステリークレイフィッシュかな？と思うザリガニをみつけたら、最寄りの環境省地方環境事務所までご連絡ください。

また、野外でみつけた個体を別の場所に放すことは被害の拡大につながりますので、絶対におやめください。

お問い合わせ



環境省外来生物対策室 TEL **03-3581-3351**

環境省「日本の外来種対策」
<http://www.env.go.jp/nature/intro/>



外来種のザリガニを野外に放さないで

近年、国内の水辺で新たな外来種のザリガニ「ミステリークレイフィッシュ」がみつかっています。見た目はアメリカザリガニと似ていますが、メス1匹だけで子孫を残すという特徴をもっています。もし1匹でも野外に入り込んでしまうと、短期間のうちに増えてしまい、生態系に被害を及ぼすおそれがあります。

アメリカザリガニが野外に逃げ出し、各地で増えてしまったことにより、貴重なトンボ類や地域固有の水生昆虫、水草などが被害を受け、激減したり絶滅したりしています。

現在、地域の生物多様性を守るために、各地でアメリカザリガニの駆除活動が行われています。

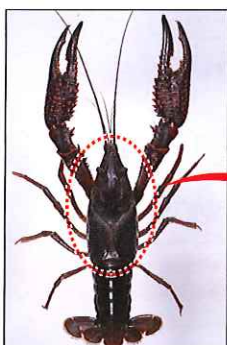
ミステリークレイフィッシュが第二のアメリカザリガニとならないよう、野外に放したり、逃げ出さないよう注意して飼育してください。

どちらも生態系に影響を与えるおそれのある外来種です！

緊急対策外来種

アメリカザリガニ

体色は暗赤色。子ザリガニは茶褐色で、まだら模様が出ることもあります。また、オレンジ色や青色の品種もあります。



ハサミの大きさは個体差があります。



背中の中の左右の線がほぼ接している

ここが見分けのポイント

定着予防外来種

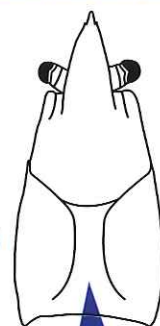
ミステリークレイフィッシュ

別名：マーブルクレイフィッシュ、マーモクレブス

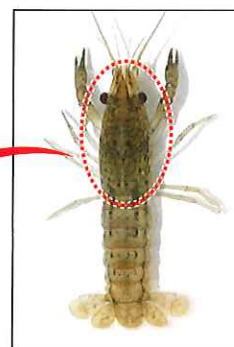
体色は青や緑色味のある灰色で、マーブル模様があります。褐色、緑褐色、青色の個体もいます。



単為生殖のため、メス1匹だけでも増えてしまいます。



背中の中の左右の線が離れている



アメリカザリガニは、生態系被害防止外来種リストの緊急対策外来種に選定されており、「対策の緊急性が高く、積極的に防除を行う必要がある外来種」です。

白、赤、青などの色が混ざった「タイゴースト」と呼ばれるザリガニもアメリカザリガニと同種のため、緊急対策外来種です。



ミステリークレイフィッシュは、生態系被害防止外来種リストの定着予防外来種に選定されており、「野外への逸出・定着の防止と、発見した場合の早期防除が必要な外来種」です。

ミステリークレイフィッシュは、外来生物法に基づき「未判定外来生物」に指定されており、輸入が規制されています。外来生物法に違反すると重い罰則・罰金が科されます。